

Anti human PPAR γ 2 mouse monoclonal antibody

PPAR γ 2: Peroxisome Proliferator-Activated Receptor γ 2

製品コード	PP-K8450B-00 旧コード Z2K8450BH
Clone No.	K8450B
Lot.	A-2
濃度	1mg/mL
容量	100 μ L
Ig class	G2a
Nomenclature	NR1C3
Genebank	U79012

由来 ヒトPPAR γ 2 (2-28 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。

特異性 ヒト PPAR γ 2 と特異的に反応する。ヒト PPAR γ 1 および PPAR α , δ には反応しない。マウス PPAR γ 2 と交差反応する。その他の動物種との交差反応は未検討。

精製法 硫酸塩析法

溶媒 生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN3添加)

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

Western Blot 可
参考使用濃度 4 μ g/mL

非還元 Western Blot 可
参考使用濃度 4 μ g/mL

ELISA 可
参考使用濃度 0.1 μ g/mL

免疫沈降 未検討
参考使用濃度 -

Supershift Assay 可
参考使用濃度 100 μ g/mL

クロマチン免疫沈降 未検討
参考使用濃度 -

免疫染色 未検討
参考使用濃度 -

保存方法 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8 $^{\circ}$ Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20 $^{\circ}$ C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

参考文献 Tanaka T, et al., J Atheroscler Thromb, 9(5): 233-241, 2002.

備考 溶媒に含まれるNaN3は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Aug 23, 2006